



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 6. 7(火)
No. 7
校長 工藤竜一

【校訓】なかよく つよく しんけんに

【学校教育目標】自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

下校時保護者引き渡しのご協力ありがとうございました

先週と本日、菊池市への犯罪予告メールへの安全対策として、下校時の保護者引き渡しを行いましたが、ご協力いただき本当にありがとうございました。皆さまのご協力により、子どもたちは全員無事に登下校を行うことができました。

運動場を駐車場としましたが、スペースが不足したり、出入口付近が渋滞するなどご迷惑をおかけしました。また、コロナ対応で教室まで迎えに行っていた方法をとりましたが、1日目は教室配置図に間違いがあるなど不備があり、大変申し訳ありませんでした。

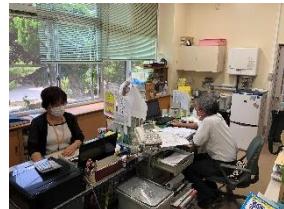
これから梅雨に入り、大雨等で保護者引き渡しを行わなければならなくなることも予想されます。その際は、学校安心メールで連絡を行います。今回のような要領で行うことになりますので、ご承知いただきますようよろしくお願ひします。

学校を縁の下で支える仕事…事務室～荒木光夫先生、岡崎あや先生の紹介～

学校を縁の下で支えてくれている教職員として、事務室の荒木先生と岡崎先生がいます。お二人の仕事は、我々の給与・出張旅費に関する手続きや、学校予算及び補助金の執行、子どもたちの給食費、PTA事務や会計など多岐にわたります。

特に、学校予算・補助金の執行に関しては、限られた金額で何の教材備品・消耗品を優先してそろえるのか、管理職や先生方と相談しながら業務を行ってくれています。それ以外にも、学校に来られる業者や保護者、電話やその他の来客への対応、文書の受付、備品のチェックなど、業務は多忙を極めます。

大型連休前のことでした。校内の樹木に毛虫が発生しました。すると、荒木先生がすぐに教育委員会に連絡し、消毒を行うよう依頼してくれました。連休中に消毒作業が完了し、毛虫は駆除できました。このように、学校は縁の下で支えてくれる一人一人の教職員のおかげで、子どもたちが安心して学べる場所になっているのです。



事務室での執務の様子

☆校長室から独り言6☆

学校は地域や保護者の皆さんに支えられていることを改めて実感しました

子どもたちと先生方のがんばり、ご家族の皆さまの支えですばらしい運動会ができ、よかったですと感動していたのもつかの間、犯罪予告メールが菊池市に届くという事件が二度も発生しました。本当に悪質な犯罪に腹立たしく思いました。しかし、今回の件で、学校は地域や保護者の皆さんに支えられているということを改めて実感しました。

まず、吉村PTA会長に保護者引き渡しを行うことをお伝えしました。早速、PTA役員の皆さんに連絡をとっていただき、朝夕の児童見守りを呼びかけてくださいました。また、本校学校運営協議会の委員の皆さん、泗水小校区の区長の皆さんにも連絡をしましたが、それぞれの立場で登下校の見守り活動などをしていただきました。PTA役員や有志の皆さんで、自主的に登下校時の運動場東出入口の交通整理、自家用車に安全パトロールのステッカーを貼っての見守り活動も取り組んでいただきました。

ご自分のお仕事もお忙しい中、子どもたちの安全が第一と、こちらからお願いしたこと以上のこと率先して実行していただく姿に、本当にありがとうございました。今回の犯罪は許せませんが、改めて、学校は地域や保護者の皆さんに支えられて教育活動ができるいるんだだと実感しました。感謝いたします。